

構造 BIM 講習会 : 「これからはじめる構造 BIM」のご案内

2023 年 1 月吉日
JSCA 中部支部 技術委員会 計画部会

日頃は JSCA 中部支部の活動にご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。

計画部会では BIM 活用推進を目的として「これからはじめる構造 BIM」と題し、BIM の基礎を分かりやすく解説する講習会を企画いたしました。

講習会では、導入した場合のメリット、一貫計算プログラムとの連携や BIM モデルと構造図の連動についての説明もあり、これから主流ツールとなる BIM についての認識を深められる内容となっています。導入を考えている方やライセンスはあるが活用していない方など、この機会に是非ご参加ください。

記

1. 日時 2023 年 2 月 22 日 (水) 17:30~19:00 (オンライン接続: 17:00~)
※接続(入室)時に参加者確認をしますので、早めの接続(入室)にご協力ください。
2. 開催方法: Microsoft Teams によるオンラインのみ
(接続 URL は 2023 年 2 月 20 日(月) 送信予定)
3. 参加対象: 会員(正、一般、賛助、学生)、非会員
4. 申込方法: 下記 URL 若しくは QR コードから google フォームにてお申し込みください。
申込〆切: 2023 年 2 月 15 日(水)

<https://forms.gle/jqvRiDKwJp4Eh4ki9>



5. 会費: 無料
6. 構造士更新: JSCA 建築構造士登録更新のため評価点申請中
7. CPD: 建築 CPD 情報提供制度対象講習会申請中

概要

日本における BIM 元年と呼ばれた 2009 年から 10 年以上が経過、また 2019 年の国交省 BIM 推進会議の発足も後押しし、大手建設会社や設計事務所では BIM の導入が進んでいます。一方で、地方の建設会社や協力事務所においては、未だ BIM が普及しているとは言い難い現状です。構造設計者が BIM を導入しない理由として、「意匠設計で BIM を使用していないから」、「提出物が 2 次元図面なので BIM は必要ない」といった意見が多くあげられます。

構造設計での BIM 導入のメリットは、計算ソフトの解析モデルと BIM モデルの連携にあります。BIM モデルと構造図も連動しているため、構造図と解析モデルの整合性を担保することが可能です。これは意匠設計が BIM を使用していなくとも、提出物が 2 次元の構造図でも得られるメリットです。

本講習会では、まだ BIM を使用していない構造設計者を対象として、BIM の基礎から、構造設計でのメリットまでをご紹介します。

講師

オートデスク株式会社 技術営業本部 AEC ソリューションエンジニア

林 弘倫 氏（一級建築士）

目次

1. BIM とは
これまでの CAD との違いから、BIM の基礎、Revit の特徴について解説いたします。
2. 日本における BIM の現状
日本の国交省 BIM 推進会議での BIM の標準化の動き等について解説いたします。
3. 構造 BIM のメリット
構造 BIM の要である、解析モデルと BIM モデルの連携について解説いたします。
4. Revit での構造図
Autodesk Revit での構造図作図をデモを交えてご紹介いたします。
5. 小規模事務所での導入例
所員 4 名の構造設計事務所での Revit 導入例をご紹介します。
6. Q&A